

2 教育計画

(1) 教育の目標と重点

○ 教育目標

明るく 元気に 生き生きと
児童生徒一人一人の実態に応じた「生きる力」を育み、自立と社会参加を目指す。

○ 教育重点

- (1) 安全・安心と健康維持を第一とし、健康なからだと豊かな心をもつ子どもを育てる。
- (2) 一人一人の発達段階に応じた学習活動の推進に努め、自分の思いをのびのびと表現できる子どもを育てる。
- (3) 自発的な動きと意欲を高める指導を工夫し、仲間と生き生きと活動できる子どもを育てる。

○ 各部の重点

<小学部>

- ・ 生活のリズムを整え、健康な生活を送ることができる児童を育てる。
- ・ 自分の思いを自分なりの表現で、周りの人に伝える児童を育てる。
- ・ 自分の力を十分に発揮して、元気に活動できる児童を育てる。

<中学部>

- ・ 自分の身体の状態を知り、体調に合わせて精一杯活動できる生徒を育てる。
- ・ 自分の思いをはっきり表し、分かりやすく伝える生徒を育てる。
- ・ 自分でできた経験を積み重ね、うまくいかないことでも工夫し、挑戦できる生徒を育てる。

<高等部>

- ・ 生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、個々の実態と課題の把握に努め、生徒一人一人の豊かな心を育むための支援を行う。
- ・ 学びに向かう姿勢を高め、自ら考えたり、自己の思いを周りの人々に伝えたりする力を育てるための支援を行う。
- ・ キャリア教育を通して自己の将来を考える機会をもち、自立や社会参加に向けた支援を行う。

(2) 経営方針

全教職員が専門性の向上に努め、優しさと活力ある学校を目指す。

○ 経営の重点

- ① 児童生徒の多様な実態に対応した教育課程を編成し、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用して、一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育を実践する。
- ② 毎日の健康管理と医療的ケアを的確に実施するとともに、希望が丘こども医療福祉センターや関係諸機関と密接に連携し、児童生徒の安全・安心を確保する。
- ③ 校内の各種研修会の実施、外部専門家やコア・ティーチャーとの連携、校外の研修会への積極的な参加等を通して、肢体不自由教育コア・スクールとしての教員の資質や専門性の向上を図る。
- ④ キャリア教育の推進を図り、家庭や地域、関係諸機関と密接に連携しながら、適切な進路支援を行う。
- ⑤ コア・スクールとして、県内の特別支援学校等への情報発信や外部相談活動を行うとともに、地域の施設、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等に対し、センター的機能を発揮した支援を実施する。
- ⑥ 交流籍校交流・学校間交流等、交流及び共同学習を積極的に実施し、豊かな発達を促すとともに、特別支援教育や障がいのある児童生徒についての啓発と相互理解を推進する。
- ⑦ ぎふ清流福祉エリアの施設を積極的に活用することで、特色ある教育活動を目指す。
- ⑧ 自己評価や外部評価を学校経営に生かし、積極的な情報発信により開かれた学校づくりを推進するとともに、地域や保護者から信頼される学校を目指す。